

No.	FAX及び郵送での意見
1	<p>ほとんどの河川をみんなみんな掘削して3ヶ所の川のことについて考えていたらいいと思います。</p>
2	<p>ダムは、100年間私達を水害から守ってくれる。そして、そのあいた、水力発電をし、100年後も発電機が来る、まばらしいことですが、100年後、ダムが砂の下ま、1し、ま、ダムとしての能力がなくなってしまうのでは？ 10年に1度の大水害が100年後に発生したらどうするの？ ダム能力がなくなったダムの上流にまたダムを作るのでは？ 人口がへっていくと100年後ダムが作れるのでは？</p> <p>二風谷ダム建設後、川増速がもたらした問題は？</p>
3	<p>平成15年8月台風10号災害にて甚大な被害がおこりました。現在二風谷ダム上流にて平取ダムの建設調査中ですがダム建設に対する是非が道内各地でおきています。556、44、49決りにて計画流量の変更に伴い治水という面では建設で急ぐ、沙流川整備計画も作成されたいと思います。沙流川流域の地域住民が納得いく整備をしていくべきです。今年10月6日に行われた「平取川のダム撤去最新情報in HOKKAIDO」の講演がありました。一部考えられる内容もありました。</p>
4	<p>平取ダムの早期着工をお願致します。</p>
5	<p>今日の意見募集で思える事は、ダムと川と住民との密接な係わりについて、氾濫する川が恐ろしい存在である。そうである川は地域の人に思いや愛を注ぎ提供していく。愛すべき存在であると思います。自然と人間が共存する術がよりよく作られる環境に順次移行して行って頂きたい。この方向で進んでいこうと資料等を拝見し思えます。台風洪水等、地元住民が被害を受けるとの事、これらよりいっそうの河川整備の取り組みを期待します。</p>

No.	FAX及び郵送での意見
6	<p>H15の台風時、二国谷ダムの操作が被害の軽減に役立ったとパンフレットにありましたが、その働きも分めた整備計画なのでしょうか。</p> <p>河川整備ですので川の工事だというのはわかるのですが普通に市街を車で走っていると見えるダムと治水との関係があった上でこの計画が必要という事も説明してほしい。</p>
7	<p>水害が起きないように計画するのが大前提であると思えますが自然景観に配慮しながら、市民が親しみやすい川にしたいと思えます。</p> <p>道の駅・川の駅等の施設があれば、もと沙流川流域も身近に感じる事が出来ると思えますし、漁川ダムのようにキャラクターがいるのも子供達には楽しく感じるようです。</p>
8	<p>平成15年8月台風の時のように周辺地区が浸水しないように、流量調整や連絡体制を強化してほしい。</p> <p>ダム・河川付近に道の駅と公園を併設するなど、流域市街地の活性化につながる開発をすれば、地域の住民にもプラスになるのではないかと。</p>
9	<p>平成15年の台風10号の災害状況が印象深い為、被害が軽減されるのであれば検討は是非行って頂きたい。</p> <p>ただ整備を重視するあまり「環境に対する影響は?」「地域住民の理解は?」などという様々な問題が後まわしになるケースも多いのではないのでしょうか。調査や試験を繰り返すことにより良い整備案を追求し続けることは是非行って頂きたい。もちろん地域住民の理解は大前提です。</p>

22.3
 ②火事時の緊急対策 - 現在あるハザードマップは市町村が作成したもので、住民の意見等は反映されていないと思われ、避難場所については周知徹底を図る必要がある。
 そのため、平取町別町、各町内会や、NPO法人臨川沙流川交流会、NPO法人沙流川愛のつらね等が連携した日常的な訓練が必要と思われる。 訓

2.2.6の住民に親しめる川づくり
 - センター公園 緑地ではユニバーサルデザイン考えを踏まえ、利用しやすい河川公園を、誰もが楽しめる沙流川を目指し、その中で環境学習や遊歩等、安心して利用できる川づくりに取り組むべきである。ヌカエでの川下りや、ボート遊びの出発範囲を、定め、流路区間の整備と発着場の選定、その場所での案内板の設置など他からの問い合わせる零細な取組も必要と思われる。そうすることによって沙流川流域の地域振興に貢献し誰もが親しめる新しい沙流川に生まれ変わるであろう。

11
 室蘭開発建設部ホームページにて、河川整備計画を拝読させて頂きました。平成9年の河川法改正に伴い、河川整備の基本となる方針を定めた河川整備基本方針と、今後20～30年間の具体的な河川整備の目標と内容を定めた河川整備計画の策定を進めている事に対して、敬意を表する次第です。

・沙流川水系河川整備計画（変更原案）について
 目標流量の変更、二風谷ダムと平取ダムの2たつのダムの洪水調整機能を利水量的変更、河道掘削等についての変更原案は、妥当であると判断いたします。
 尚、河川整備計画の実施に当たっては、自然との共生による環境保全及び地域住民との対話を、続けながら施行される事を祈念いたします。今後共、ご指導ご鞭撻をお願い致します。

No.	FAX及び郵送での意見
12	<p>三回各々の発電所を二回分の一に削減し、</p> <p>はありませぬ。その活用は万人に及ぶ。</p>
13	<p>河川の整備変更計画で河道掘削の踏みこみには</p> <p>良しと見做す。</p> <p>地域の人々の一層の安心、安全は平取での早期完成</p> <p>です。</p>
14	<p>水質改善はクリーンにするのが最優先です。</p>
15	<p>利水を怠らぬことな放水をせよ。殺菌に</p> <p>活用せよ。</p>
16	<p>まず、治水をするからには少なからず自然の手を入れることにはなるのであ</p> <p>らう。環境変化を最小限に抑えることを最優先事項に掲げた上での</p> <p>整備を推進して欲しい。地元民ではない者が言うとなかなか聞かれない</p> <p>けれども、環境保全と犠牲にしてまで安全性を上げなければならぬ</p> <p>と言うのなら、そこは居住地としての適性を疑うなど、もっと根本的な所に</p> <p>目を向けるべきではないかと考えております。</p>

No.	FAX及び郵送での意見
17	<p> 河川は川の流域の人々、生き残る動植物にとり切らぬ水が 存在する。今回の整備計画には、利水・治水・防災の計画は33人、 最近特に関心が高い。自然環境・流域周辺の文化にも配慮 した内容だと思ふ。沙流川流域の自然環境・文化には、22Pの スクラン、水文化の「橋」を置けるようにしていか。将来的には 例えは、四国や四万十川、また、入る「ワ」で「漏」か「イ」で「エ」 観光資源として、役割を担う事。流域の貢献も70%の 目み出す存在する可能性が大きいと思ふ。 </p>
18	<p> 直接的な関わり合いはありませんが、自分が流域に住む住民であつたと想定し意 見を述べさせていただきます。最大の関心は災害への対応ですが、災害を未然に防ぐ ために「治水」工事を「行ふ」かと思ふは、水利用・環境の保全を多岐に渡り 配慮がなされており、整備計画が具体的な形として見えてきました。台風10号の時 には三風谷ダム、決壊の恐れへの情報が流れましたが、巧みな人為的な「水 を起す」ための対応も必要と思ひます。ダムに頼る治水の危険性が問題 視されていますが、流域住民の生命財産を守るために、この整備計画が 推進されるのを理解すると願ひます。 </p>
19	<p> ①三風谷ダムの上流側の流土を撤去して下さし。(水面が年々 上っているダムの効果が出来なく、なるので早く整備して下さし。 水産資源の保護、ダムの上流側で多くの魚、小魚がいた 流土が少いので、いなくなつてきた。子供達の自由の場所がなくなつ ている。流土が少く下り水面が上らなれば。 </p> <p> ②補修する台風10号が来る時三風谷ダムの壁が大きく崩れて恐ろし かった安心して居る。沙流川に於いて早く堰取ダムを整備して下さし </p>

No.	FAX及び郵送での意見
20	<p>平取ダム の早期完成の、安全にっほかり 安心。 居住と子どものために、一日も早く完成を願って います。 今後の水力発電の活用を期待します</p>
21	<p>真鍮のソレに留意して安心して見ることが出来る 事業として下さい。</p>
22	<p>川道堤崩を安全、安心の為に早期に着工して 下さい。</p>
23	<p>平取ダム建設について、災害の発生を洪水等を防ぐために1日でも 早い工事、完成をしてほしい。</p>
24	<p>近年、集中豪雨など大雨が頻発している為 早期に平取ダムを完成させ、二風谷ダムとの2ダムで 有効な洪水調節を行ない、沙流川下流の住民が 安心して暮らせるようにしてもらいたい。</p>
25	<p>災害の発生を防ぐために、沙流川の整備計画を少しでも 早く促進してほしい。</p>
26	<p>沙流川河川整備計画への、総合的な被害軽減対策に つながるよう整備をお願いします。</p>

No.	FAX及び郵送での意見
27	<p>概要説明は非常に分かりやすかったが、H15.8 の台風10号上陸の際の洪水流量が6,100ト に照準合わせての対応だけは大丈夫なの かという不安もあった。最今今、世界的 な災害を考えると、洪水洪水だけでなく、台風台風 の脅威を含め、多面的な観点から防災の 対応を検討していくべきと思われ。</p>
28	<p>河川整備計画(変更)を見て頂き、意見を持 にありません。 感想ですが、整備に約10年と長い期間を要す るものですね。国の財政事情が厳しくお金を得ない のですね。</p> <p style="text-align: right;">y/e</p>
29	<p>平成15年10号台風による洪水の恐ろしさと治水対策とし のガム必要性を強く感じました。 今回の河川計画の変更は、洪水への対応を強化する 内容となっており、流域に住む私達にとっては、 安心して生活できる環境の向上に大きく貢献し、早期実現を 願っています。</p>
30	<p>平成15年に発生した台風10号の実績に基づいて整備方針を変更するのでは 賛成です。あの台風10号で堤防が欠陥していた場合を想像すると、と 大変な事態に陥っていたと思います。実際起きた台風被害に対応できる 安全、安心な整備計画の実現を強く要望いたします。</p>
31	<p>平成15年の10号台風での浸水被害にあい、たいへんお 思いでしたため、洪水の心配がなくなり、ガムの建設や 堤防の築上げなど、早急の実施してほしい。</p>

No.	FAX及び郵送での意見
32	<p>ダム建設と関くと川をせき止め、水質悪化や生態系の破壊などが起るといった懸念があります。治水調節の目的とともに自然を杀れを致し、環境保全に十分配慮していただく必要があります。</p>
33	<p>ダム建設という大公共事業は、その周辺地域において大きな地域振興対策になると考えます。大きな投資をするのですから、この機会に少しでも地域住民の不安、不平、不満を解消していただきたいと思います。</p>
34	<p>三日月のダムの稼働は必要あり、廃止論には反対である。</p>
35	<p>街道振興には必要あり、早急に進めるべきである。</p>
36	<p>地元に住んで、11人が安心して暮らせるように考えましょう。</p> <p>ダムを作るだけでなく、荒れた山林の対策も同時に行うべきでしょう。</p> <p>ダムの運用も一律ではなく、臨機応変に運用してほしい。</p>

No.	FAX及び郵送での意見
37	<p>12月17日の室蘭開発建設部の説明会は10時半から12時まででしたが、1時間以上は開発の説明で残り僅か30分程しかなく、私達が質問をする時間はほとんどありませんでした。</p> <p>又、この説明会の通知は、開発のホームページと日高報知新聞だけという、不親切なものでした。ホームページを見る人が何人いるでしょう。日高報知新聞を取っている人が何軒あるでしょうか。そのうえ、ホームページでは、10時から12時となっていたのです。どちらが本当なのでしょう。水害の被害にあつて、困るのは地域住民なのです。住民に対する誠意が、どうしても感じられないのです。</p> <p>本当にダムは必要なのでしょうか。</p> <p>沙流川の本流は約104キロメートルもあるのです。上流で大雨が降ったら支流の糠平川にダムを作っても水害の防止の役目を果たす事が出来るのでしょうか。どう考えても、住民を水害から守れるとは思えません。ダムを作るより、河川の整備をした方が予算も安く自然を破壊する事もないのではないのでしょうか。NHKテレビで、ダムを作るより河川の整備をした方が予算が少なくすみ自然破壊もしなくてすむという調査をし実行した例が放送されていました。</p> <p>平取ダムを作る予算と、河川整備の予算のどちらが安いのか、その数字を住民に示してほしいのです。</p>
38	<p>平成15年の台風10号の後で、大雨、台風の来ると、また災害の心配するのはおかしいか? ... という不安にかられます。安心して暮らせる環境整備と情報迅速な情報伝達を住民に提供したいと思っております。</p>
39	<p>治水対策としての河川整備計画は地域にとって必要不可欠な事業だと考えます。本計画は環境への配慮がされてい様ですが、計画が実施された場合の環境への変化状況の予測等があげれば良いと思います。</p>
40	<p>質問 1. 目標流量を6,100m³/sとほぼ天変の数値は安全である根拠は。(平成15年10号台風降水量が77mm)</p> <p>2. 10,600m³/sの流量は、ダム建設施工中(10~20年)の周水変更は考えられるのか? (近年の異常な気象状況から不安を感じた)</p> <p>意見。平成15年10号台風は生活・精神面でも非常に痛手を受けた。毎年夏を来ると不安に感じ、一日も早く着工を希望している。</p>

No.	FAX及び郵送での意見
41	<p>この原案を拜見した感想として、河川維持の目的から、ツツミエや山林のはびこる文化等、流域固有の環境や文化の保護を第一に挙げて作成されているものと感じています。地域住民の望みも同じ事であると思っておりますので、私としては計画通りに実行して頂きたいです。</p> <p>但し、この計画の中で災害が安全に防げる事ができるという事は出来ていないので、この計画の実行については、長い間流域の自然災害と共に生活を経験した地域住民の意見を尊重して原案を柔軟に決定していくべきだと思います。その為には、まず利益をばらばらに説明・告知等をこの原案を基として行い、更に、早く住民に浸透し、河川らしい川と人の付き合いを益人にして欲しいと願っています。</p>
42	<p>洪水による災害の発生防止や被害の軽減を図るために、河川整備を行ふことは、意味のあるものだと思いますが、それにより自然環境や動植物の生態系が壊れてしまうのは問題だ”と思うので、自然保護を考えた整備を進めてほしいと思います。</p>
43	<p>おこなう河川整備において、地域住民が主体的に関与し、川に緑や動物の豊かになり、河川の利用者が、ふ山直下りも河川に存続し、充分理解出来た。もし、この原案が本来の計画にならなくても、一度作成した計画案をどの程度見直しを必要と、整備して頂きたいと思っております。</p> <p>また、今回の見直しの中で、河川にHP等をつけて頂けると参考になりますので、ご検討下さい。</p> <p>河川流域に在る地域住民も多くの話し合いを行って河川整備を行って下さい。そして、よい川と暮らすようにどうもよろしくお願いします。</p>

No.

FAX及び郵送での意見

44

地震、洪水氾濫、漏水などの水害による被害は、近年非常に多く発生していき、この事態に遭遇するかわからないことに対する不安を解消すべく、この整備計画を実現してもらうことは、とても大きな期待が持てる事業だと思います。しかし、万が一の事態に備えるときは、充実した設備だけでなく、危機的事態を乗り越えられることも、人と人との密な連携が重要となります。やはりその体制を築きあげておくことができれば期待します。

又、災害防止対策に加え、たくまの動植物が生息し、さらには水辺対策を通じて活気ある憩いやすい清流川を作りたいと思います。

45

平成15年8月の台風10号は、清流川最上流域であった日高田区域にも大きな被害をもたらしました。日高田区域は、川筋局の直轄管理区域ではありませんが、河川管理は水源から河口まで一帯の河川管理を行うことにより効果が見られるものと思っております。河川整備計画立案の実施にあたり、このほか、赤松町、道、柳野等関係機関と連携し、山手もお願いいたします。計画対象の河川(水源(山名)に課)が、あり村のことでお願いいたします。ウツガ川(山名)、山手川(山名)、山手川(山名)、山手川(山名)、山手川(山名)

46

平成15年8月の台風10号は、日高田に大きな被害をもたらしました。(死者1名、行方不明者1名)を以て最近、異常気象による被害が生じている昨年は着水による立木被害、今年も2回も落雷により、電柱、10メートル、自動ドア、ボイラー等の被害が相次いでいます。災害に対する防護策は万全を期していただくことが、清流川の上流域に於いては必要とされています。豪雨時の河川水位調整機能を高めるための河川整備計画を進めたい。

No.	FAX及び郵送での意見
47	<p style="text-align: center;">答</p> <p>自然を生かす環境を第一に考えています。 ダム計画も同時に生かす動植物の生態に影響の少ない方法を模索します。 たとえば魚道の整備や、ダム周辺の山への植林、親水施設の整備などを併せて検討します。</p>
48	<p>平成15年8月の当周を初め、近所果樹栽培の従来自然災害については木を伐採を保護下来了。 現在、日南町において清流の自然を顕えせプロジェクトに力を入れている存在であります。 災害に強く、自然環境を大事にする整備計画を強く望みます。</p>
49	速急にして頂きたい。
50	早めにして頂きたい。

No.	FAX及び郵送での意見
51	<p>1. 河川整備計画の目標に関する事項</p> <p>過去の被災洪水を経年的・時系列的に取りまとめ、治水計画の現状と課題、河川整備の目標、河川工事の実施に関わる事項等についてマクロな見地から全体計画の中核となる基本事項を網羅しており、更に付加すべき事項は無いものとする。</p> <p>2. 河川工事の実施に関する事項</p> <p>河川工事の目的、施工場所及び工種、更には河川管理施設の機能等についても要約されており、目標流量、河道計画、工事の内容、工事実施区間など工事実施に当たっての基本事項も内包しているので、更に付け加えるべき所見は見当たらない。又、河川の維持管理面に於て、維持管理の必要性、突発的に来襲する局地的豪雨に対し、これをハード・ソフト両面から配慮した管理体制の確立等についても評述しており、評価したい。</p> <p>更に川が人間の生活情緒を育成するかけがえのない貴重な自然であることについてもふれ、今般、緊迫する国家財政の中で、必至となる河川管理費を調達することが今後難儀が予想される中で、将来必ず発生する河道の部分的補修工物の老朽化に伴う改良、改築、土砂対策、流木処理等につき事前に国民、地元住民のコンセンサスを受け易い準備も不可欠なものとなるものとする。</p> <p>結論として、「明日につなぐ川づくり」を巨視的に俯瞰したとき、沙流川水系河川整備計画は量的・質的に評価されるものとする。</p>

No.	FAX及び郵送での意見
52	<p style="text-align: center;">アイヌ民族と住民はどこに !!</p> <div style="text-align: right; background-color: black; width: 150px; height: 20px; margin-bottom: 10px;"></div> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域住民無視。 2. アイヌ文化無視。 3. アイヌ文化環境保全対策調査を待つて変更を考えるべき。 4. 着工したとしても保全対策調査を続け、対策を行うべき。 5. 二風谷事件判決、河川法改正を重視すべき。 6. 両ダムとも水の無いダムとすること。 <p style="text-align: center;">以上意見を述べる機会を求む。</p>
53	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>平成15年、台風10号に於ける災害時の体験を 忘れるに早急に「国有林・民有林・国道・道 町道・各河川の支流・本流に因る 各関係機関が連係の取れた対策を 構築し実際に即した事業を早く展開し かつ又、同じ災害の繰り返しに終極 するのでは?</p> </div>
54	<p>沙流川整備に関する意見</p> <p>平成15年8月台風10号の木曾有の豪雨により、我が日高町は開拓100年を目前にして死者、行方不明者を出し、河川、道路、家、農地、山林、など過去に経験したことが無い大きな、大きな被害が出て、今なお苦しんでいる人がいるのが現状です。</p> <p>河川改修には、いろいろと意見があると思いますが、自然災害としてあきらめることなく適切な改修をし、地域住民が、安全で安心して暮らせるようにしていただきたい。</p> <p>二度と同じ災害が繰り返されることが無いように、そして悲しい思いをしないような、取り組みをお願いいたします。</p>
55	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ◦ 二風谷ダム湖周辺のトイレもっと充実させてほしい。 (特に右岸) ◦ ダム湖での釣り自由に来るようにしてほしい。(制限つき) ◦ ダム湖周辺に行く道路の整備をしてほしい。 </div>

No.	FAX及び郵送での意見
56	<p>○ 一般の人が参加できるイベント(例えば休日に乗船艇等)を行ってほしい。</p> <p>○ ぬずらい動物の生態がかわりやうと心配。 (東沢モーターボート等)</p>
57	<p>当初の沙流川総合開発事業は、苫小牧東部工業地帯への工業用水を取水することも含めた多目的ダム建設であったことから、当時は関係市町村の期待も大きいものだったと思われます。しかし、その後の国家的な財政難や河川法の改正、平成15年の水害による計画変更が生じたことにより、洪水調整が主な目的に変更になったことも否めません。このことについては、当然仕方のない変更と思いますが、地域住民や自治体にとっては多少なりとも期待を裏切られるのではないかという不安を感じさせられます。平取ダム建設においては、ハード的なダム堤体建設ばかりではなく、建設後においても、流域の環境整備等の公共事業について何らかの期待をしているのも事実でありますし、そうした配慮が継続されることを期待します。また、治水、利水、環境に関する施策や流域の歴史、文化ならびに河川環境の保全のための学習の場については、既存の沙流川歴史館(ダム記念館)が担うべく役割も大きいことから、施設整備や機能についていっそうの配慮を図って頂きたい。</p>
58	<p>世界各地で起きている災害を考えると平取ダムの早期施工を望みます。</p>
59	<p>河川整備計画の平取ダム早期完成を特に希望すると共に、河道拡削と洪水対策の有効な在処を考慮し、その際河川周辺の動植物の生態保護に十分留意を希望いたします。</p>

No.	FAX及び郵送での意見
60	<p>◦ 色々な方の色々な考え方がありますが、平成15年の台風の災害は、二風合ダムのおかげで拡大せずに済んだと思います。あのダムに溜まった流木が全て下流へ流れていた事を考えると、勿分橋は壊れていたら、河川、門別地区の様な浸水も、平取地区にも及んだとしよう。</p> <p>異常気象のせいで、この先、いつあの悪夢が再来するかわからないので、是非、早くも早い平取ダムの完成を希望致します。</p> <p>◦ 私の姪や甥は、夏休みの宿題や自由研究に、台風の時のダムの資料を使わせていただきました。沙流川流域以外の子供も参加できるレクリエーションもあるといいですね。</p>
61	<p>平取ダムの早期着工願います。</p> <p>そして洪水に強い町作りをお願い致します。</p>
62	<p>一般河川沙流川は日高町、平取町、門別町の3町を縦断し、この地域の文化、商工業、農林水産業、そして観光の重要な基幹として存在します。加えて近い将来、一つの行政単位となることが予想される当地区において沙流川が果たす役割は大きなものがあると思われれます。</p> <p>以下に「沙流川水采河川整備計画【変更】(原案)」に関する意見をまとめます。</p> <p>① 沙流川を広域連携型(日高沙流川ブランド)の基幹と位置づけする「仕組み」を明確盛り込むことはできないか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 当地は残念ながら用事がなければ来ることのない土地(立地条件)である。 ・ だから来てもらう必要がある。 ・ 都市部ではない → ないものの方が多い → あるものを生かす <p>→あるもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「自然環境」 ○ 「生産基盤としての風土」 ○ 「歴史文化景観」 ○ 「農林水産資源」 <p>→それらの有効利用には、現状では観光産業が有力である</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ インフラの整備ばかりが重要なのではなく、今あるものの有効利用、「点を線で結ぶ仕組みを考えてはどうか？」

No.	FAX及び郵送での意見
62	<p>「沙流川源流部、幌尻岳」→「スズラン原生地」→「和牛、トマトの生産地と試食」→「古くから言い伝えられる、民話伝承の舞台」→「サラブレッド放牧地」→「太平洋へと注ぐ沙流川と日高沿岸の水産資源の試食」(3町の広域連携)</p> <p>→広域連携型(日高沙流川地域、日高沙流川ブランド)としてのPRが望まれる。</p> <p>② 河川風景の復元</p> <p>河川整備の進捗と合わせて高まる安全性に反比例して、画一的で魅力に欠ける水辺空間となってしまう区間がある。</p> <p>この水系のかつての姿を知り、そこで幼少期を過ごしたものならば、魅力的でわくわくするような水辺空間を懐かしむ人も多はずである。</p> <p>計画中の河道掘削においては、かつての魅力あふれる河岸の復活と、あふれる動植物の確実な復活を望む。そのためには当水系の在来種(草木、魚類)と計画中の河道掘削工法がマッチングするものか、実証実験等を踏まえ、確実な目的達成を期待する。</p>
63	<p>・ 地域住民の他に他の市町村々々でも川に親みを持つる ように公園等の施設を充実させ、車でもこれるように 駐車場の整備をしてほしい。</p> <p>・ 堤防の天端を散歩等もできるように舗装してほしい。</p>
64	<p>①私は、12月17日実施の門別町で沙流川水系河川整備計画[変更](原案)についての説明会及び意見公聴会に出席して、資料2・資料3について非常に理解しやすい資料です。</p> <p>②今後地球の温暖化現象が進み益々気温が上昇するため、局地的に降雨量多くなる事が予想されます、今後100年先を見越した治水対策をして頂きたい。</p> <p>③二風谷ダムより下流の堤防及び護岸の弱体箇所の整備の充実を願いたい、河道掘削は河川整備計画[変更]原案に通じ河道以外の部分の掘削を実施して貴重な清流を汚さないような工事を望みます。</p> <p>④シシモは門別町を代表する特産品であるので、シシモが溯上出来る河口の改修及び河道拡張と河口付近に河畔林(河岸樹木)の保全に努めて頂きたい。</p>

No.	FAX及び郵送での意見
65	<p>私を含めて、XXXXXXXXXX 5名が平成15年の台風10号の災害に遭遇しました。5名が2組に分かれ、それぞれが孤立状態に置かれ、新冠町、平取町の小学校の避難所に1日あるいは2日お世話になりました。</p> <p>先日12月17日に行なわれた住民意見聴取会において、台風10号の被害にあわれた方の話は、本当に恐ろしさを実感された方の話と感ずる事ができました。約2年が経過していますが、住民の方々が本当に洪水災害が二度と起こらない事を切に願ひ、長期計画の中でもできることから早く実現して、洪水災害にならないための手立てを国に対して求めていると感じました。</p> <p>整備計画は、平成15年の台風災害の最大流量6,100トン/秒に対処し、70年に一度の洪水確率で計画されていると聞いていますが、世界的な気象の変化、流域の変化なども考え、より高い治水安全度を確保できるように官民一体で進める必要があります。</p> <p>そのためには、今まで以上に、より明確でわかり易い説明が求められることと、地域住民の治水に対する必要性の認識を更に高める努力が不可欠と考えます。</p>
66	<p>直接台風10号の被害を受けた方たちにとって、河川整備計画早くを進めて欲しいと切実に願っている。早く安心を手に入れたいと思っているのだろう。</p> <p>開発局の方々は、委員会や意見聴取会の中できちんと誠意を持って対応している。残念なのは、新聞記事が偏っていること。批判ありきでは物事は何も進まない。また、メディアが一般の方々に与える影響の大きさを十分に理解して記事を書く必要がある。</p> <p>(マスコミに対する広報も必要では?)</p> <p>流域委員会の中で、シシャモやサケの産卵床など自然環境への配慮について議論された。このような環境に関する問題は、開発局だけではなく、専門家の意見を聞きながら進めていく必要がある。しかし、環境への配慮は付加事項であり、何よりも安全の確保(治水)を第1に考えることが重要である。</p> <p>河川整備計画は、流域の方々が納得の上で進めていくためにも、もっと広報を活発に行うべきである。広く色々な人々に河川整備計画の考え方を理解してもらうことが必要である。</p> <p>一般の方々からのリアクションにはすぐに返答し、一つ一つ丁寧な対応をしていく。これの繰り返しが大切であり、すぐに明解な返答していくことで、住民の方からの信頼関係を築き上げていけるはずである。</p> <p>ホームページやニュースレターなども言葉を一つ一つ選んで掲載されていることと思うが、もっと分かりやすく端的な言葉を使う方が良い。誰が広報物を見ても、開発局の考え方が明快に分かる、質問に明確に応える広報物があると良い。</p>

XXXXXXXXXX 箇所は個人情報等に該当するため黒塗りしています。